

平成30年 5月15日現在

機関番号：12603

研究種目：若手研究(B)

研究期間：2014～2017

課題番号：26770049

研究課題名(和文) 中世スペインにおけるキリスト教とイスラーム間の異文化交渉：トレドのムデハル美術

研究課題名(英文) Crosscultural interactions between Christians and Muslims in Medieval Iberia: a study of Toledan Mudejar art

研究代表者

久米 順子 (KUME, Junko)

東京外国語大学・大学院総合国際学研究院・准教授

研究者番号：60570645

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 2,400,000円

研究成果の概要(和文)：「ムデハル美術」とは、中世イベリア半島におけるキリスト教美術とイスラーム美術の異文化交渉のひとつとして、1859年以来、スペイン美術史研究において論じられてきた現象である。しかしその名称が指す内容は、19世紀後半から21世紀までの社会状況の変遷に応じて、大きく揺れ動いてきている。本研究では、主要な先行研究の分析を通して、「ムデハル美術」の研究がそのときどきの近現代スペインのイスラーム理解と深く結びついていることを論じた。

研究成果の概要(英文)："Mudejar Art" is an artistic phenomenon discussed by Spanish Art Historians since 1859 as one of the intercultural negotiations of Christian art and Islamic art in the medieval Iberian Peninsula. However, the meaning of this label has been greatly fluctuating in response to changes in the social situation from the late 19th century to the 21st century. In this research, through analysis of major prior studies, I pointed out how "Mudejar art" 's perception and academic fortune are deeply tied to the changing ways of understanding Islam in modern Spain.

研究分野：西洋美術史

キーワード：ムデハル ムデハル美術 スペイン美術 中世美術 美術史 中世イベリア半島 異文化交渉

1. 研究開始当初の背景

キリスト教美術とイスラーム美術が交差した地域は、それぞれの宗教の伝播にともない、世界各地に存在してきた。その中でイベリア半島は、両者の緊密な接触が711年のイスラームの半島侵入から1492年のレコンキスタ終了まで8世紀間もの長期間に及んだ点に特徴がある。

この両者の接点として注目されるのが、キリスト教支配下に生きたムスリムであるムデハルたちである。煉瓦、木材、漆喰、タイルの扱いに秀でていたムデハル職人は、中世イベリア世界の聖堂建築や世俗建築において、その優れた腕をふるった。その技術の一部は、16世紀以降になると大西洋を越えて新大陸のキリスト教建築に引き継がれ、19世紀にはスペインという国民国家を代表するネオ・ムデハル様式として復権した。すなわちムデハル美術はスペインの中世から近現代にかけて細く長く影響力を持ち続けたのである。

ムデハル美術は、このように長い時間と地理的範囲に及んだ異文化交渉の一例とされるが、未解明の点が多く、とりわけ本邦においては先行研究がほぼ見当たらないテーマである。

2. 研究の目的

本研究は、ムデハル美術の問題に本格的に取り組むための準備的第一段階と位置付けられる。そこで、スペイン中部の古都トレドで中世に制作された美術と建築を対象として設定し、キリスト教とイスラーム間の異文化交渉の具体的様相を美術史の立場から解き明かすことを目指す。トレドを対象とするのは、研究開始の時点ですでに予備的現地調査を終えており、研究対象とすべき作例の目星がついていたためである。トレドにおけるムデハル美術とその波及の考察を通して、キリスト教とイスラーム間の錯綜した関係に新たな光を当てることが本研究の目的である。

3. 研究の方法

上記の目的を達成するために、以下の計画に従って研究を行う。

(1) ムデハルに関する歴史学・文献学からの研究、およびムデハル美術・建築に関する先行研究の渉猟を行う。

(2) トレドのサン・ロマン聖堂(現公会議・西ゴート文化博物館)および同時代のクリスト・デ・ラ・ルス聖堂を取り上げ、建築と壁画に注目する。作品分析と文献調査を通してトレドにおけるムデハル工房の活動の一端を明らかにする。

(3) 2008年以来交流を続けている中南米の西欧中世研究者たちと、非欧米圏における中世研究の研究手法や成果発信の方法等について議論をさらに深めていく。西欧を拠点とする研究者とも作品現地調査や国際研究集会等の機会を通じて情報交換を行い、研究者間の国際的な連携を強化する。

4. 研究成果

研究方法(1)の内容に関して、先行研究を渉猟するなかでムデハルについてはいまだ定説に至っていない点が予想以上に数多く残されていることが明らかとなった。そのため、もっぱら研究史とそこから見える問題点を整理する必要が生じた。1859年にスペインで美術史における「ムデハル様式」という用語が創出されるや否や広く受け入れられた経緯、その後のスペインをはじめとする各国での研究動向、近年の「ムデハル様式」という名称に対する一部の研究者からの強い批判がどのような文脈の下で起こったのか、数回の口頭発表を通して考察を深めた。その上で、複数の論文において、「ムデハル美術」の研究がスペイン美術史における「モサラベ美術」とパラレルな関係にあること、そのときどきの近現代スペインのイスラーム理解と深く結びついていることを論じた。

本研究計画の3年目に、本研究の申請時には予想されなかった大きな変更点が生じた。「頭脳循環を加速する戦略的国際研究ネットワーク推進プログラム」プロジェクトによる若手研究者海外派遣のため、2016年3月から2017年3月の1年間、フィレンツェの欧州大学院大学を拠点に研究を行うことになったのである。頭脳循環プロジェクトでは、報告者は、ヨーロッパ中世美術史を専門とする立場から画像史料を有効に用いつつ、ヨーロッパ境界地域とりわけ中世地中海地域における歴史的経験の循環を明らかにするという研究課題を担当した。したがってイベリア半島のムデハル美術研究という本研究の課題と異なり、きわめて幅広い年代と地域を扱う必要が生じた。結果的には、そのことがかえって本研究を別の視座から見直すための格好の契機となったが、研究計画3年目以降に予定していたトレドのキリスト教聖堂の個別研究の予定は、これを変更せざるを得なくなった。個別の作品研究は今後の課題である。

研究方法(3)の内容に関しては、日本の学会誌に中南米の西洋中世学の歴史的形成と現状の諸問題を研究動向としてまとめ、一方アルゼンチンの西洋中世研究誌に日本の西洋中世学を紹介した(研究業績、雑誌論文)。2017年10月にはThe 3rd International Colloquium: The Middle Ages seen from other

horizons (第三回国際コロキウム「異なる視野から見たヨーロッパ中世」)および特別セミナー「“ムデハリスモ”と“モサラビスモ”」を東京外国語大学にて開催した(研究業績、その他を参照)。メキシコ、アルゼンチン、スペイン、ポルトガル、イタリアで活躍する歴史学、美術史学、ジェンダー研究などの研究者九名(うち二名はビデオ参加)と日本の歴史学、美術史学、建築史学の研究者六名が集い、本研究計画が目標とする中世イベリア半島のキリスト教とイスラームの異文化干渉の諸相に関して4日間にわたって実り多い報告・議論が行われた。なお本コロキウムの成果は、2018年度にe-bookとしてオンライン公開予定である。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計3件)

久米順子「書評 伊藤喜彦著『スペイン初期中世建築史論 十世紀レオン王国の建築とモサラベ神話』、『建築史学』第70号、2018年、106-114頁、査読無、2019年以降オンライン公開予定

Junko Kume, Gerardo Rodriguez, Mariana Zapatero, “Historia y Memoria”, Scriptorium, 10 (2017), pp. 36-40、査読無

久米順子、「中南米の西洋中世学」『西洋中世研究』第8号、2016年、229-241頁、査読有

[学会発表](計15件)

久米順子、「“ムデハル美術”を振り返る その功罪をめぐって」、スペイン史学会第39回大会「ムデハルとは何か? 中世スペインの宗教・文化的多様性をめぐる議論と展望」、慶應義塾大学日吉キャンパス、2017年10月29日、招聘

Junko Kume, A Comment on Timon SCREECH “A Telescope and a Cargo of Paintings and Prints Sent from London to Japan in 1611-1616 - Their Purpose and Meaning”, Tokyo University of Foreign Studies, 2017年6月27日

Junko Kume, “How to name the past: Some debates in Modern Spain about Medieval Art History”, HEC colloquium “Art politics and art history in 20th century Spain”, European University Institute, Florence, 2016年12月7日、招聘

Junko Kume, “El ‘Arte mudéjar’ en la historia del arte español: en busca de una identidad”, XVIII Jornadas Internacionales de Historia del Arte, Centro de Ciencias Humanas y Sociales del CSIC, Madrid, 2016年9月15日、招聘

Junko Kume, “Donde viven los monstruos. Miradas desde el rincón”, Summer Course, XXI Càtedra d’estudis medievals del Comtat d’Urgell, Lleida (Spain), 2016年7月1日、招聘

Junko Kume, “Formation and Development of the Historiography of ‘Mudéjar Art’ in Spanish Art History”, The 6th International Medieval Meeting Lleida, University of Lleida (Spain), 2016年6月20日

Junko Kume, A Comment on Oskana Sarkisova, “Traces: The Memories of State Violence and Domestic Photography”, The Second TOKYO-BUDAPEST Workshop: The Violence of Memory and the Memory of Violence, Central European University, Budapest, 2016年3月17日

Junko Kume, “The ‘discovery’ of medieval art and the formation of national identities: the case of 19th century Catalonia”, Europe seen from abroad, Polish-Japan Research Seminar, International Cultural Centre, Krakow, 2016年2月5日

久米順子、「中世スペインのキリスト教美術にみるムスリムとイスラームの表象」、第66回美学会全国大会シンポジウムIII「歴史の事実と絵画の真実: 文字史料と画像史料をめぐって」、早稲田大学、2015年10月11日、招聘

Junko Kume, “Obras de arte en torno a la translatio s. Isidori Legionem anno 1063”, VI Simposio Internacional: Texto y contextos: diálogos entre Historia, Literatura, Filosofía y Religión, Universidad Nacional de Mar del Plata (Argentina), 2015年4月16日、招聘

Junko Kume, “Arte cristiano en el Toledo reconquistado”, Seminario de Posgrado: El taller del historiadores ‘el abordaje de fuentes medievales’, Universidad Nacional de Mar del Plata (Argentina), 2015年4月15日、招聘

Junko Kume, “Construcción y consolidación de la historia del arte

medieval español”, II Coloquio Internacional “La Edad Media vista desde otros horizontes: problemas teóricos y metodológicos”, Universidad Nacional de Mar del Plata (Argentina), 2015年4月14日、招聘

Junko Kume, “Dos códices ildefonsianos en el Toledo recién reconquistado: la difusión del De virginitate iluminado dentro y fuera de la Península Ibérica”, International Conference Medieval Europe in Motion 2015: Medieval Manuscripts in Motion, Fundação Calouste Gulbenkian, Lisboa (Portugal), 2015年3月4日

久米順子、「イベリア半島の中世美術史を考える その成立と発展、実証的作品研究」
「頭脳循環を加速する戦略的国際研究ネットワーク推進プログラム」プロジェクト
「境界地域の歴史的経験の視点から構築する新しいヨーロッパ史概念」(主担当研究者: 篠原琢)第2回研究会、東京外国語大学本郷サテライト、2015年1月12日

久米順子、「中南米の西洋中世学：非西欧圏における取り組みの一例」[ポスター発表] 西洋中世学会第6回大会、同志社大学、2014年6月22日

〔図書〕(計9件)

Junko Kume, “El ‘Arte mudéjar’ en la historia del arte español: en busca de una identidad”, M. Cabañas, W. Rincón (eds.), Imaginarios en conflicto: Lo español en los siglos XIX y XX, Madrid; CSIC, 2017, 516pp. (pp. 345-355 担当)

久米順子、「ロマネスク壁画の収集・保全とカタルーニャ美術館」
木下亮編『バルセロナ カタルーニャ文化の再生と展開』(西洋近代の都市と芸術第6巻)竹林舎、2017年、456pp. (61-81頁担当)

久米順子、「講演要旨 ムデハル美術 中世イベリア半島におけるキリスト教美術とイスラーム美術の交錯」『地中海の魅力 2014 地中海の誘惑 2015』、慶應義塾大学文学部、2017年、105pp. (78-80頁担当)

久米順子、「西ゴート王国(1)アリウス派時代」「西ゴート王国(2)カトリック時代」
立石博高、内村俊太編著(著者計11名)『スペインの歴史を知るための50章』、明石書店、2016年10月、390pp. (33-44頁担当)

Junko Kume, “Reconsideraciones del arte medieval español durante el siglo XX: lo «mozárabe» y lo «mudéjar»”, CABAÑAS BRAVO,

Miguel, RINCÓN GARCÍA, Wifredo (eds.), El arte y la recuperación del pasado reciente, Madrid: CSIC, 2016, 400pp. (pp. 123-132 担当)

Junko Kume, “Arte cristiano en el Toledo conquistado”, Gerardo Rodríguez, Gisela Coronado Schwindt (compiladores), Formas de abordaje del pasado medieval, Mar del Plata, Grupo de Investigación y Estudios Medievales - Universidad Nacional de Mar del Plata, 2015, 233pp. (pp. 76-96 担当)
<http://giemmardelplata.org/en/>

Junko Kume, “Obras de arte en torno a la translatio s. Isidori legionem anno 1063”, Gerardo Rodríguez, Gisela Coronado Schwindt (compiladores), Formas de abordaje del pasado medieval, Mar del Plata, Grupo de Investigación y Estudios Medievales - Universidad Nacional de Mar del Plata, 2015, 233pp. (pp. 40-75 担当)
<http://giemmardelplata.org/en/>

Junko Kume, “Escribanos e iluminadores de la frontera cristiana hispana entre los siglos X y XI: la costumbre del retrato”, RÍOS, Martín F. (coord.), El mundo de los conquistadores, Madrid: Sílex - México: Universidad Nacional Autónoma de México, 2015, 864pp. (pp. 839-859 担当)

久米順子、「ベアトゥス写本挿絵にみる中世イベリア世界」
吉田ゆり子、八尾師誠、千葉敏之編(著者計19名)『画像史料論 世界史の読み方』、東京外国語大学出版会、2014年、326pp. (pp. 28-48 担当)

出願状況(計0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

取得状況(計0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕

久米順子、「『ムデハル美術』を振り返る

その功罪をめぐって」(第39回大会「ムデハルとは何か? 中世スペインの宗教・文化的多様性をめぐる議論と展望」(於慶応義塾大学、2017年10月29日)報告要旨)『スペイン史学会会報』第115号(2018年1月) 10-11頁

久米順子、「〔報告〕第三回国際コロキウム「異なる視野から見たヨーロッパ中世」および特別セミナー「“ムデハリスモ”と“モサラビスモ”：中世イベリア半島におけるキリスト教世界とイスラーム世界の文化交渉、二〇一七年十月十二日～十五日」『総合文化研究』(東京外国語大学総合文化研究所)第21号(2017年) 116-117頁

6. 研究組織

(1) 研究代表者

久米 順子 (KUME, Junko)

東京外国語大学・大学院総合国際学研究院・准教授

研究者番号：60570645

(2) 研究分担者

()

研究者番号：

(3) 連携研究者

()

研究者番号：

(4) 研究協力者

()